

令和8年3月26日

## 入札仕様書等に関する質問及び回答

1 件 名      メタバース空間を活用した不登校児童生徒等支援業務委託

2 公 告 日      令和8年3月17日

○ 上記案件についての質問及び回答は別表のとおりです。

埼玉県教育局市町村支援部 生徒指導課

担当：総務・不登校対策・中退防止担当

TEL：048-830-6745

E-mail：a6740@pref.saitama.lg.jp

No.	書類	概要	質問	回答
1	実施要領	6.	現在、代表者変更に伴う委任状の申請手続き中で貴市に審議頂いております。現在登録済の名称で参加申請しても差し支えありませんか？	差し支えありません。
2	仕様書	2.(2)	SSO連携などの関係でご質問させていただきます。GIGAアカウントは、MSアカウント、Googleアカウントのどちらでしょうか？どちらにも該当しないことありますでしょうか？	GIGAアカウントについては、市町村で導入している端末の状況により異なり、MSアカウント・Googleアカウントの可能性もあります。また、利用者によっては、自宅の端末を使う可能性もあるため、MSアカウント・Googleアカウントに該当しない場合もあります。
3	仕様書	2.(2)	SSO連携などの関係でご質問させていただきます。GIGAスクールアカウントの「@」より前の部分は、個人が特定できないものとなっておりますでしょうか？（氏名が入っていないなど、ご教示いただきましたら幸いです）	GIGAアカウントについては、市町村で導入している端末の状況により異なり、「@」より前の部分が、個人が特定できるものとなっております可能性もあります。
4	仕様書	2.(6)	仕様書「オンライン学習教材の内容」について機能要件表の項目を完全に満たしていない場合でも、入札参加資格はありますでしょうか。満たしていない場合の対応方針（例：代替案の提案可否、減点対象となるか等）について、貴県のご見解をお聞かせください。	「オンライン学習教材」について、満たせない項目がある場合は、代替案を提示してください。その場合は、プレゼンテーション審査に使用する資料にそのことが分かるように記載してください。
5	仕様書	2.(6)	仕様書「オンライン学習教材の内容」の「深夜の時間帯はアクセスできないよう制限がかけられること。」については、児童生徒がインターネットにアクセスできる環境がある限り、他のツールにもアクセスできずとも、深夜利用を根本的に防ぐことは難しいと考えております。生活習慣の改善につながる代替策により根本的な解決につなげて考えております。つきましては、仕様緩和をご検討いただくことは可能でしょうか。	形式的であっても、深夜の時間帯にアクセスできないよう制限をかける必要があることから、仕様書のとおりとさせていただきます。
6	仕様書	2.(11)	公式LINEのプラン変更費用を委託費に含むとのことですが、管理権限が県に属するアカウントの利用について、受託者はどのような手続きで支払い（立替払いや請求先変更など）を行う想定でしょうか	受託者の手続き方法に指定はありませんが、公式LINEのプラン変更費用は、県から委託業者に支払う委託費（契約金額）に含めて支払います。
7	仕様書	2.(4)	メタバース空間の開放時間（9時～17時）に対し、オンライン支援員の配置時間は5時間程度と指定されていますが、支援員が離席・不在となる時間帯（残り3時間）について、フロア内の有人監視やトラブル対応は不要という認識でよろしいでしょうか。	そのとおりです。
8	仕様書	2.(5)	学習支援等の講師は8月の配置が不要と記載されていますが、①8月も平日（お盆期間等を除く）はメタバース空間を開放する要件でしょうか。②空間を開放する場合、オンライン支援員については8月も配置が必要でしょうか。	①8月の開放日については、今後、参加市町村との協議により決定します。 ②8月にメタバース空間を開放する場合、オンライン支援員の配置は必要ありません。
9	仕様書	2.(6)	本事業独自教材でなく、既存教材でも良いか	仕様書の内容を満たしていれば、既存教材でも問題ありません。
10	仕様書	2.(6)	県指定・推奨教材についてあるのか	県指定・推奨教材はありません。
11	仕様書	2.(6)	任意のEDTech 教材の提案可能か	仕様書の内容を満たしていれば、既存教材でも問題ありません。
12	仕様書	2.(6)	「教科書に準じた内容」県採択教科書への完全一致もしくは学習指導要領準拠レベルどちらでも良いか	仕様書の内容を満たしていれば、どちらでも問題ありません。
13	仕様書	2.(4)	ワイド支援員・講師は、各フロア専任が必要か 責任者を決めて複数人のシフト制でも良いか	どちらも問題ありませんが、オンライン支援員を配置する時間帯は、各フロアに1名ずつ常駐するようにしてください。
14	仕様書	2.(4)	4名の配置は、4フロア同時常駐が必須かどうか	4フロア同時常駐が必須になります。
15	仕様書	2.(4)	朝の会・学習支援は4フロア同時が必須事項か	朝の会・学習支援の実施時間帯は、今後、各フロアに参加する市町村の協議により決定します。なお、今年度の実施状況を見ると、各フロアとも同じ時間帯に設定しております。その場合は、4フロア同時での実施（4フロアで別々の人が実施）が必須になります。
16	仕様書	2.(9)	問い合わせは電話でなくメールのみで良いか	問い合わせは電話での対応もできるようにしてください。
17	仕様書	2.(5)	一斉学習は小学1年生～中学3年生までの5教科を期間中に満遍なく実施できれば良いか？	一斉学習については、参加市町村との協議により、仕様書に記載の「趣味・実用」の実施を希望する場合があります。そのため、仕様書に記載の内容が実施できるようにしてください。
18	仕様書	2.(6)	学習ログとして管理者閲覧項目の設定 学習時間・進捗・読書履歴・コメント履歴を想定 県としての必須事項項目は記載以外にあるか	県としての必須事項項目は仕様書に記載のとおりです。 なお、「オンライン学習教材」において、満たせない項目がある場合の代替案の提案は認めます。その場合は、プレゼンテーション審査に使用する資料にそのことが分かるように記載してください。
19	仕様書	2.(2)	深夜のアクセス制限 全体一律設定で良いか	問題ありません。
20	仕様書	2.(8)	緊急時対策は、システム障害だけでなく、児童生徒対応上のトラブル・メンタル対応も含むか	児童生徒対応上のトラブル・メンタル対応も含みます。児童生徒対応上のトラブルが発生した場合は、状況により、発注者に報告してください。
21	実施要領	6.	提案時点で再委託先の具体的社名・役務分担当での記載は必要か	提案時点で、再委託先の具体的社名は不要です。役務分担当は可能な範囲で記載してください。
22	実施要領	6.	教材・空間構築・運営等を専門事業者が担う形での共同提案・再委託構成での提案で問題ないか	問題ありません。
23	仕様書	2.(3)	発注者と受託者（共同提案者含む）において打合はリアルでなく、オンラインでも可能かどうか	問題ありません。
24	仕様書	2.(3)	管理運営者向けの説明会・イベント等は具体的にいつ頃の実施を想定しているか	管理運営者向け説明会については、5月頃を予定しておりますが、具体的な日程については、発注者と受託者の協議によります。
25	仕様書	2.(3)	募集用チラシの配付は紙ベースでの印刷枚数について 納品はデータベースのみで、展開はメールで良いか	納品はデータベースのみで、メールでの展開でも問題ありません。
26	実施要領	その他	メタバース空間の東西南北の市町村の振り分けイメージについて。対象になりうる生徒児童数を知りたい	各フロアとも概ね7～12市町村が参加する予定です。今後、参加市町村を決定するため、対象となり得る児童生徒を見込むことはできません。そのため、仕様書に記載の人数が利用できるようにしてください。
27	仕様書	2.(2)	「各フロアとも、同時に150名までアクセスできるようにすること。」とありますが、1フロアあたりの同時接続150名の表現方法について確認させていただきます。例えば、1フロア内を50名ずつの複数のインスタンス（サブルーム）に分割し、フロア全体として合計150名が同時にアクセスできる構成とすることは、仕様を満たすものとして認められるか	1フロアに最大150名利用できる（同時にアクセスできる）ようにしてください。
28	メタバース空間仕様書詳細	2.1.(1)①	「開閉に自身の状態を知らせることができ、ステータス表示中には、他者からのビデオ通話を受け付けず制御が可能であること。」とあります。アバターのステータス表示機能は実装可能ですが、ステータス表示中にビデオ通話をシステム的に受け付けない制御については、技術的な制約がございます。代替案として、ステータス表示中の利用者を自動的にプライベートスペース（他の利用者からのコミュニケーションを受け付けられない専用エリア）に移動させる。又は同等の効果を持つ仕組みにより対応することは認められるか。	ステータスを表示した利用者が全てプライベートスペース（他の利用者からのコミュニケーションを受け付けられない専用エリア）に移動してしまうと、通常の空間とプライベートスペースの境界が曖昧になるといったことや、オンライン支援員による状況把握が困難となるといった懸念が考えられます。そのため、提案いただいた代替案の場合は、プライベートスペース専用のオンライン支援員を、仕様書に記載した人員とは別に配置してください（設置するプライベートスペースが複数になる場合、設置数と同じ数の人員を配置してください。）
29	メタバース空間仕様書詳細	2.1.(2)①	「管理者、利用者間においてテキストとスタンプで連絡するため、ボックス内に表示できるようにすること。連絡は、個別とグループに配信ができるものとすること。また、未読のメモが残っている場合は、ボックスに目印が表示されるようにすること。」とあります。以下3点について確認させていただきます。 ①ボックス内に表示とは、画面上のテキストチャット欄（チャットウィンドウ）のような表示形式を想定されていますでしょうか。具体的な表示イメージをご教示ください。 ②スタンプ機能の実装が困難な場合、テキストのみでの対応（テキストチャットによる個別・グループへの連絡機能）とすることは認められますか。 ③未読/既読機能について、未読メッセージの自印表示について、チャットボックス上のバッジ表示ではなく、ログイン時に未読の連絡がある旨を画面上で通知する方式で良いか	①画面上のテキストチャット欄（チャットウィンドウ）のような表示形式を想定しています。 ②児童生徒によっては、スタンプのみで表現する者もいるため、仕様書のとおりスタンプも利用できるようにしてください。 ③問題ありません。
30	メタバース空間仕様書詳細	2.1.(3)	「利用者がログインできる時間帯をフロアごとに設定でき、時間による利用者の一斉ログアウトを可能とすること。」とあります。指定の時間に達した際、利用者を一斉にログアウトさせるのではなく、空間への新規入室を制限し、既にログイン中の利用者についてはアバターの操作ができない状態とする（実質的に利用を終了させる）仕様とすることは、本要件を満たすものとして認められますか。	問題ありませんが、利用者の利用時間のログ等が取得できないといったことはないようにしてください。また、操作できない状態となったアバターを空回ししない場合、ログアウトしている状態（メタバース空間にアバターが残っていない状態）にしてください。
31	メタバース空間仕様書詳細	2.(3)④	仕様書には「画面上でアバター同士を重ねることによって自動でビデオ通話が起動し、同時通話ができるようにすること。」とあります。アバター同士を重ねることによる自動起動ではなく、利用者間で個別メッセージのやり取りを通じてビデオ通話の許可・開始を行う方式（利用者の意思に基づくビデオ通話の開始）による代替は認められますか。	問題ありません。

32	メタバース空間仕様書詳細	2.(3)⑤⑥	<p>仕様書には「教室に入るとWeb会議システム(Zoom、Microsoft Teams 等)が起動する設定ができること。」及び「会議室や打合せ席を有しており、着席することにより自動でビデオ通話が起動すること。」とあります。教室への入室や着席による自動起動が技術的に困難であるため、代替案として、オンライン支援員又は管理者が個別メッセージ等を通じて Web 会議システムのURL を送付し、利用者がその URL をクリックすることで Web 会議システムを起動する方式とすることは認められますか。</p>	<p>日々、朝の会やオンライン学習支援が実施される状況であるため、個別メッセージになると、メッセージの量が膨大となってまいります。そのため、仕様書に記載のとおりとさせていただきます。</p>
33	メタバース空間仕様書詳細	2.(7)	<p>仕様書には「Zoom の有償ライセンスを受注者が用意すること。」とあります。本事業では受注者側で有償ライセンスを準備する予定ですが、利用する児童生徒のGIGA スクール端末において、現在Zoom をご利用いただける環境(インストール済み又はブラウザ利用可能な状態)か、各市町村により、Zoom ではなく Google Meet やMicrosoft Teams 等、他のWeb 会議システムを利用されている場合がございます。その状況についてご教示ください。</p>	<p>Zoomの有償ライセンスは管理者側(県及び参加市町村)で利用する想定であります。そのため、児童生徒のGIGA スクール端末には、Zoom有償ライセンスを導入しません。</p>